

日本映画上映会の御案内

2013年6月18日

2012年より、在南アフリカ共和国日本大使館と日本研究センターは、日本文化の更なる発信を目的とし、日本研究センターが設置されているプレトリア大学ビジネススクール (Gordon Institute of Business Science) において、定期的に日本映画上映会を実施しております。

その第8回目として、7月20日(土)午後2時より、「南極料理人」を上映することと致します。

上映作品は日本語音声・英語字幕です。入場は無料です(4. 無料チケットについて参照)。

なお、会場ではDVDを校内の視聴覚機材を使用してスクリーンに映し出す方式を採用するため、一般の商業映画館での映画上映とは雰囲気が異なりますことを御了承ください。

1. 日時

7月20日(土)午後2時

2. 会場

プレトリア大学ビジネススクール
(Gordon Institute of Business Science ;
26 Melville Road, Illovo, Johannesburg)

3. 上映作品 (日本語音声・英語字幕)

南極料理人 (2009年、125分、制作「南極料理人」制作委員会)

監督：沖田修一

出演：堺雅人、生瀬勝久、きたろう ほか

あらすじ：家族と離れてさみしいけれど、どんなときも、おいしいものを食べると元気になれる。

生物はおろか、ウィルスさえ生存できない厳寒の南極ドームふじ基地に、8人の男たちが観測隊員としてやってくる。主人公・西村淳の仕事は、隊員のために毎日料理を作ること。ときに贅沢な食材を用いて、手間ひまかけて作った料理を、全員そろって一緒に食べる。みんなの顔がほころぶのを見ると、何にも替えがたいうれしさがある。

遠く離れた日本では、妻と8歳の娘、そして生まれたばかりの息子が待っている。ふとした瞬間に頭をよぎる家族との思い出。すると、なぜだか泣きたい気持ちになってくる。約1年半、14,000キロの彼方にいる家族を思う、究極の単身赴任はまだまだ続く――。

観測隊員たちを待ち受けていたのは、日本の暮らしとはかけ離れた、想像を絶する南極生活。悪戦苦闘の毎日の中で、次第に絆を深めていく隊員たち。笑いもすれば怒りもする。騒ぎたい日もあれば泣きたい日もある。でも、美味しいものを食べれば元気が出る。舞台は極寒、でも心の芯がじんときたかくなる魅力的な作品が誕生した。料理がつなぐ人間のドラマは、こんなにも笑いと愛おしさにあふれている！



©2009「南極料理人」製作委員会

4. チケットについて

入場は無料ですが、席に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

チケットの申し込みは、6月19日(水)より日本大使館広報文化センターの e-mail アドレス (info@pr.mofa.go.jp) で受け付けます。チケットはお一人様4枚まで申し込み可能です。申し込み締切は7月14日(日)とさせていただきます。

5. お問い合わせ先

在南アフリカ日本大使館 文化班 西島
TEL: 012-452-1500 FAX: 012-460-3880
Email: shota.nishijima@mofa.go.jp